

学校の教育活動から

○合格おめでとうございます！

12月から2月にかけて令和8年度の中学校入学試験が行われました。6年生の子ども達がチャレンジして、以下に示す学校に合格しています。よく頑張りましたね！本当におめでとうございます。



久留米附設 (2名)	福大大濠 (5名)	西南学院 (2名)	上智福岡 (1名)
早稲田佐賀 (6名)	青雲 (3名)	弘学館 (3名)	東明館 (3名)
久留米信愛 (7名)	筑陽学園 (5名)	八女学院 (1名)	佐賀県立香楠 (1名)
沖学園隆徳館 (1名)	中村学園 (2名)	博多女子 (1名)	福岡女学院 (1名)
熊本マリスト (5名)			

○持久走大会のご声援ありがとうございました！

14日(土)に実施しました「持久走大会」にはご参観の上たくさんのご声援をいただき、本当にありがとうございました。子ども達にとって苦しい時の何よりの力になったことと思います。以下の表は、今回の持久走大会のメダリストを紹介したものです。おめでとうございます！

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
男 子	1位	O・H	M・Y	O・S	K・Y	N・T	M・R
	2位	N・M	A・S	A・Y	N・K	A・H	M・E
	3位	K・H	A・H	K・T	N・T	K・S	K・S
女 子	1位	N・M	K・R	K・M	K・H	U・M	Y・A
	2位	K・M	A・M	R・A	I・K	K・Y	S・K
	3位	Y・S	M・N	A・A	I・F	S・R	U・T

感じたことから

○多くのメダリストの言葉に含まれるのは…

連日、熱戦が繰り広げられている「ミラノ・コルティナオリピック」において、日本人選手も活躍し、たくさんのメダルを獲得しています。その中の一人に女子スノーボード・ハーフパイプで銅メダルを獲得した小野光希選手がいます。小野選手は、メダル獲得の感想を問われたインタビューで、次のように答えていました。



「この4年間、嬉しいことよりも苦しい時間の方が本当に多くて、何回も滑ることが嫌になってしまいました。しかし、たくさんの方のサポートだったり、支えのおかげでここまで頑張ってきたので、本当に周りの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。」

小野選手に限らず、多くのメダリストの方々が口にするのが周囲への感謝です。メダルを獲得したならば、苦しさを乗り越えた自分の頑張りや結果を誇らしげに語るのではないかと思います。ほとんどの場合、そうではありません。一人では、挫けてしまいそうなことでも、周囲の励ましやサポートがどれほど多くのパワーを与えてくれたかが分かります。それと同時に、そのことをしっかり感じ取り「感謝」の思いを大きく膨らませているアスリートの皆さんの人柄に感心するばかりです。

さて、本校でも6年生の皆さんの受験が終わり、4月からの進学先も決まりました。これまでの勉強の過程では、苦しいこと、投げ出したりしたいこともたくさんあったことでしょう。そんな時に、お家の方々の励ましやサポートがきっと力になっていたはず。また、持久走大会での保護者の皆様のご声援や拍手は、子どもたちにこの上ない力を与えてくださいました。受験でも、持久走大会でも子どもたち自身の頑張りは何より素晴らしいのですが、そこに保護者の皆様をはじめとする支えてくださった方々への感謝の気持ちを、アスリートの方々のように忘れないでいてほしいと思います。